

1. 圏域の概要

(1) 水産業の概要

① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

- ・ 当圏域は、薩南諸島の大隅諸島に位置し、関係市町村は種子島に西之表市、中種子町、南種子町、屋久島に屋久島町の合計1市3町で、関係漁協は種子島漁業協同組合（令和2年度末組合員数406名、年間水揚高734トン、6.3億円）、南種子町漁業協同組合（令和2年度末組合員数165名、年間水揚高80トン、1.6億円）、屋久島漁業協同組合（令和2年度末組合員数183名、年間水揚高417トン、3億円）の3漁協である。

② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

- ・ 主な漁業は、ロープ曳き浮敷網、流刺網、定置網、一本釣・曳縄である。
- ・ 主な魚種は、浮敷網によるトビウオ、流刺網によるキビナゴ、定置網による浮魚・瀬物類、一本釣によるアオダイ、メダイ、アオリイカ、曳縄によるカツオ・マグロ類である。
- ・ 資源量については、他圏域と同様に漁獲対象種の資源状態が低迷しており、漁業生産量が減少している。

③ 水産物の流通・加工の状況

- ・ 圏域内においては、種子島の西之表港、島間港、屋久島の一湊漁港、宮之浦港、安房港、栗生漁港において、漁協が開設・運営する産地市場があり、島内消費や加工向け以外の水産物は、毎日運行している定期貨物フェリー等で鹿児島市内に出荷されている。
- ・ 水産加工は、トビウオやキビナゴの塩干加工品等が製造されている。
- ・ 代表的なブランドとしては、「種子島キビナゴ」：種子島漁協、「屋久島首折れサバ」：屋久島漁協がある。

④ 養殖業の状況

- ・ クルマエビ・ウナギの陸上養殖及び、トコブシ地まき式養殖が営まれている。

- ⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況
- ・ 圏域の漁業を取り巻く環境は、資源状況の悪化、魚価の低迷、燃油資材等の高騰により、非常に厳しくなっており、組合員数も年々減少し、高齢化の傾向にある。また、離島であるため、鹿児島方面に出荷する水産物の鮮度保持や流通コストに課題がある。
 - ・ このような傾向に歯止めをかけるため、意欲と能力のある中核的漁業者の育成、若い新規就業者の確保・育成が課題である。
- ⑥ 水産業の発展のための取組
- ・ 根付資源のトコブシ放流やアオリイカの産卵礁設置を行うなど、資源の維持・増大に取り組んでいるほか、直売所・レストラン（種子島漁協お魚センター、屋久島漁協特販センターなど）の運営、ブランド化（種子島キビナゴ、屋久島首折れサバなど）による水産物の付加価値向上や6次産業化に取り組んでいる。
- ⑦ 水産基盤整備に関する課題
- ・ 生産・流通・加工・販売の経済活動を支える水産基盤整備については、水産資源の維持増大を図るための水産環境整備を計画的に進めるとともに、産地市場の衛生管理対策、生産コストの縮減を図るための施設整備、及び、激甚化する台風等による浸水被害や南海トラフ地震等、切迫する巨大地震に対する漁港漁村の防災・減災対策が課題である。
- ⑧ 将来的な漁港機能の集約化
- ・ 今後、10年程度で圏域内の漁港施設について、統合や廃止、同一漁港内での機能再編の予定は無い。

(2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	外海離島型	設定理由； 良好な漁場に近接する外海に位置する離島で、前進基地として水産物生産の安定かつ強化、及び排他的経済水域等の保全を目指すタイプ
② 圏域範囲	西之表市、中種子町、南種子町、屋久島町	設定理由； 熊毛（種子島、屋久島）管内に属する漁港

③ 流通拠点漁港	該当なし	設定理由；
④ 生産拠点漁港	浦田漁港 (第4種) 熊野漁港 (第4種) 口永良部漁港 (第4種) 一湊漁港 (第4種)	設定理由； 当該漁港は、荒天時に避難漁船を 周辺の漁港から集約するなど、漁船 の安全性を確保する。 また、生産拠点漁港として、地震・ 津波発生時の漁港利用者の避難対 策を検討する。
⑤ 輸出拠点漁港	該当なし	設定理由；

(令和元年)

圏域の属地陸揚量(トン)	2,066	圏域の登録漁船隻数(隻)	480
圏域の総漁港数	27	圏域内での輸出取扱量(トン)	
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	3		

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量(収穫量)(トン)	
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 流通拠点漁港等の生産・流通機能の強化

- ・ 漁獲された水産物は島内消費に限りがあり、島外へも出荷されているため、より鮮度の良好な状態で出荷できるような体制構築とともに、鮮度保持のため岸壁への屋根設置等、衛生管理向上を図る。
- ・ 口永良部漁港においては、漁業活動に支障をきたしている漂砂対策を行い、生産コスト縮減を図る。

②養殖生産拠点の形成

- ・ 該当なし

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

- ・ 当該圏域は、黒潮流域に近く、周辺海域は好漁場が形成されるが、近年の長期的な海水温上昇などの漁場環境の変化が見られるとともに、漁獲対象種の資源状態は低迷しており、漁業生産量が減少している。

今後、さらなる漁場環境の変化が予測されるなど、漁業生産量が減少する恐れがあることから、水産資源の回復及び増大を図るため、魚礁設置等による漁場の整備に取り組んでいく。

- ・ 魚礁設置後に漁獲調査や蛸集状況調査等によるモニタリングを実施し、結果を検討して得られた知見を積極的に次の漁場整備に活かし、整備効果の向上を図る。

②災害リスクへの対応力強化

- ・ 当該圏域の生産拠点漁港は、周辺海域に好漁場を有し漁業生産の拠点となっていることから、南海トラフ地震等切迫する大規模地震による被害の早期回復が必要であり、漁港BCPを策定し、漁港利用者の避難対策を確立するなど大規模地震等に備えることとする。
- ・ 離島航路を有する口永良部漁港は、防波堤の耐浪化の整備を行う。
- ・ 施設の老朽化が進み、補修・更新時期を迎える施設が多くなることから、「事後保全」から「予防保全」型への転換を図り、新技術の積極的な活用により、これまで以上にライフサイクルコストの縮減と予算の平準化を図る。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

- ・ 漁村地域では、高齢化・過疎化が進行し、浜の活力の低下が懸念されることから、地域が一体となったブルー・ツーリズムの推進体制づくりを促進し、農林水業や観光産業との連携強化による多様なネットワークやメニュー作りを行う。

また、都市住民等のニーズを把握し、漁村地域が持つ魅力について情報発信するとともに、漁業体験型の教育旅行の誘致や漁家での宿泊体験などの取組を促進する。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

高齢化・過疎化により漁業就業者数は減少傾向であることから、漁業就業希望者への就業情報や漁業情報の発信提供、各種研修の実施等により、漁業就業に意欲的な人材を育成し、将来の漁業生産の担い手を確保する。

また、漁業就業者等の労働環境の改善、利便性の向上を図る施設整備を行う。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①流通拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
住吉	流通機能強化	交付金	住吉	2	

・住吉漁港

防波堤改良を行い港内静穏度の向上を図るとともに、浮棧橋を整備し就労環境の改善を図る。

②養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
—	—	—	—	—	—

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
熊毛	資源管理	水産環境

・熊毛海域

魚礁設置等により水産資源の回復及び増大を図る。

②災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
口永良部	安心・安全	機能強化	口永良部	4	
熊野	安心・安全	機能強化	熊野	4	
熊野	予防保全	機能保全	熊野	4	
一湊	予防保全	機能保全	一湊	4	
能野	予防保全	機能保全	能野	1	
竹崎	予防保全	機能保全	竹崎	1	
志戸子	予防保全	機能保全	志戸子	1	

栗生	予防保全	機能保全	栗生	1	
湊	予防保全	機能保全	湊	1	
沖ヶ浜田	予防保全	機能保全	沖ヶ浜田	1	
花里崎	予防保全	機能保全	花里崎	1	
葉山	予防保全	機能保全	葉山	1	
高坊	予防保全	機能保全	高坊	1	
安城	予防保全	機能保全	安城	1	
梶潟	予防保全	機能保全	梶潟	1	
中山	予防保全	機能保全	中山	1	
州崎	予防保全	機能保全	州崎	1	
大川	予防保全	機能保全	大川	1	
砂坂	予防保全	機能保全	砂坂	1	
下西目	予防保全	機能保全	下西目	1	
浜田	予防保全	機能保全	浜田	1	
吉田	予防保全	機能保全	吉田	1	
原	予防保全	機能保全	原	1	
麦生	予防保全	機能保全	麦生	1	
小瀬田	予防保全	機能保全	小瀬田	1	

・口永良部漁港外1漁港

機能診断結果を基に外郭施設や係留施設の耐震・耐浪・耐津波化の整備を進める。

・熊野漁港外22漁港

持続可能なインフラ管理の推進として機能保全計画に基づき漁港施設の機能回復を図る。

(3)「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
全域	地域活性化	ブルー・ツーリズムPR推進事業	全域		

・圏域漁港全域

農林水業や観光産業との連携強化による多様なネットワークやメニュー作りを推進。

都市住民等のニーズを把握し、漁村地域が持つ魅力について情報発信すると共に、漁業体験型の教育旅行の誘致や漁家での宿泊体験などの取組を促進する。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
全域		かごんま 漁師育成 推進	全域		
全域		漁業生産 の担い手 育成確保 事業	全域		

・圏域漁港全域

漁業就業希望者への就業情報や漁業情報の発信提供、各種研修の実施等により、漁業就業に意欲的な人材を育成し、将来の漁業生産の担い手を確保する。

4. 環境への配慮事項

- ・ 種子島においては、自然に恵まれた風光明媚な景観を形成している。特に、島の北側、浦田漁港海岸は「日本の海水浴場88選」に選ばれ、島の東側には、太平洋の荒波が作り出した海蝕洞窟「千座の岩屋」が、さらに、種子島の南東端の海岸に面し、サンゴ礁の海に囲まれた種子島宇宙センターがある。
- ・ 屋久島においては、1993年12月、白神山地(青森県・秋田県)とともに、日本で初めて世界自然遺産に登録された。世界的に特異な樹齢数千年のヤクスギをはじめ、多くの固有種や絶滅の恐れのある動植物などを含む生物相を有するとともに、海岸部から亜高山帯に及ぶ植生の典型的な垂直分布が見られるなど、特異な生態系とすぐれた自然景観を有している。
- ・ 漁港漁場の計画にあたっては、特に景観に対して配慮するとともに、サンゴ礁や海底地形、潮流などに大きな影響を与えないようにする。

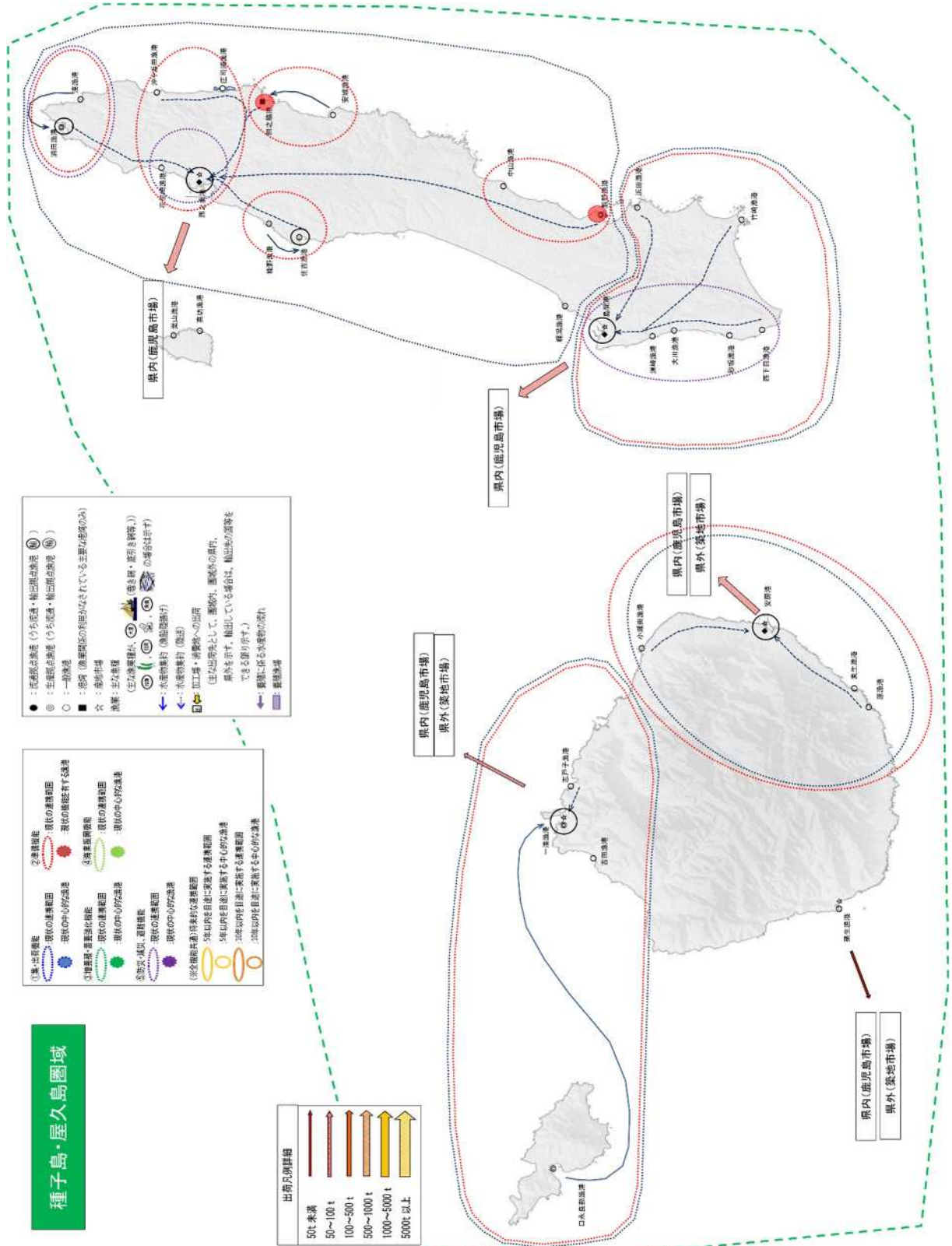
5. 水産物流通圏域図

別添、「鹿児島県 水産物流通圏域図」

6. 当該圏域を含む養殖生産拠点地域図

該当なし

7. 漁港ごとの役割や機能分担及び漁港間での連携の状況を示す資料



8. その他参考となる資料